

## 人形劇を通じた被災地支援の取り組み

講師 高橋健介



子ども支援学専攻の学生達（高橋健介ゼミ）が、東洋大学の東日本大震災復興支援活動の一環として、2013年3月10日～12日に福島県で人形劇の上演を中心とする支援活動をおこないました。

福島県いわき市の仮設住宅、田村市や矢吹町の認定こども園にて、計6回、約500名の子ども達に上演され

た人形劇は、シゲタサヤカ氏原作の『オニじゃないよおにぎりだよ』（えほんの杜）。

健気なおにぎりが、おいしいおにぎりを村人にあきらめずに届けようとする物語です。子ども達は、学生達の手づくり人形によってくり広げられる物語に、笑いあったり、ハラハラドキドキしたり、そして人形達のがんばりに共感しながらその世界を楽しんでいました。

人形劇の後には、人形に触れる機会もあり、声をあげてうれしそうに人形達と握手するなど、子ども達の笑顔があふれていました。

学生達にとっても、子ども達の笑顔に感動するとともに、震災当時やこれまでの子ども達の姿、保育者の対応についてうかがうなど、子ども達の命を預かる保育者の責任とやりがいを改めて認識し、保育者としての学びとしても充実した上演活動の旅となりました。

